

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和3年6月15日

事業所名 YCCもこもこ十三教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		利用定員内で余裕のあるスペースで療育を行っています。	
	2	職員の配置数は適切である	○		有資格者を積極的に採用しています。	法定配置数にプラスして有資格者を配置してより良い療育を目指しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		玄関先で転ばないように段差には気を配っています。	構造上全てのバリアフリー化は難しいですが、支援室内はバリアフリーです。今後検討いたします。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎日支援のミーティングや振り返りをしています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			毎年の評価表から保護者への説明や意向をくみ取っていない場合は改善するようにスタッフで話し合っています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			外部評価はしていませんが普段から保護者様や関係機関からの評価は受け止めて改善するようにいたします。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		コロナでリモート研修ですが研修には参加しています。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		アセスメントを行ったうえで個別支援計画を作成しています。	今後も保護者様のニーズを聞きとりながら個別支援計画を作っております。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		その日のプログラムについては会議をしています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		活動プログラムについては季節に応じたイベントを入れるなどしております。	学習の中でのプログラムやグループワークの中でさらに工夫するように努力いたします。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		翌日に振り返りを行っています。	気付いた点や重要な事を職員全員で共有できるよう、今後も努力します。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		毎月管理者がチェック検証しています。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○				
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○				

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		サービス担当者会議は管理者が必ず出席しています。	担当職員から支援の様子を聞きとり、必要な内容を会議で話し合えるように体制を整えています。。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		学校に出向いたり、電話などで子どもたちの様子を共有しています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○			該当児童はいませんがご利用の場合お医者様と連携できるように努力いたします。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			相談支援事業所や保護者を通して就学前の様子は細かく聞き取っています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			そのようなケースの児童はいないが、今後該当者がいた場合、情報を共有していきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			自治体によっては発達支援センターの職員の方が見学に来られるのでその時にご教示いただきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○			個人情報の観点から難しいが職員が出向いて共有することは可能かと思えます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			月1回の連絡会には必ず参加しています。今後も参加し、連携に努めていきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時や面談時に振り返りをしています。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○			ペア・トレはしていないが、児童の様子を見て助言をしています。今後も保護者支援をしていきます。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約の時に必ずご説明しています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		ケースに応じて面談や振り返りの時に助言をしています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			コロナの影響で実現しておりませんが、コロナ感染が落ち着いたら保護者会を開催して連携をはかりたいです。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情があった時は管理者を中心に保護者や児童に迅速、丁寧に対応しています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月一回の教室だよりと週1回以上のブログの更新をしています。	
	35	個人情報に十分注意している	○			普段から細心の注意をしていますが、できていない時は注意喚起しております。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		予定表の視覚支援を毎日行っています	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			個人情報の観点から難しいが地域の学校と連携をとっています。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			マニュアルはありますが、内容を全員にお伝えできるように努力いたします。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			年2回の訓練を行っていますが定期的に子どもたちも含めた訓練を実施していきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			虐待や身体拘束の研修を年1回開催するように努力いたします。また研修会にも出席いたします。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		契約時に身体拘束については細かく説明しております。個別支援計画にも記載しております。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		該当者はいませんが契約時にアレルギーの確認をしています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		事例があった時は全職員で共有しています。	